

Oracle® Fabric Manager 5.0.2 リリース ノート



Part No: E74619-02
2016 年 11 月

Part No: E74619-02

Copyright © 2016, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用了ことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはオラクル およびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel, Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD, Opteron, AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWeb サイト(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。

目次

このドキュメントの使用	7
最新情報	9
このリリースの新機能	9
サポートされている最小ソフトウェアバージョン	10
ソフトウェアおよびハードウェアの要件	10
システムの制限および制約	11
Oracle Fabric Manager では、同じバージョンからバックアップされた構 成のみを復元できる	11
Oracle Fabric Manager では、QoS およびデフォルトゲートウェイの所有 権が想定される	12
Oracle Fabric Manager では特定のポートを使用可能にする必要があ る	12
サポートされるアップグレードパス	13
Oracle Fabric Manager ソフトウェアのダウンロード	14
既知の問題	14
Oracle Fabric Manager のアップグレード後に、複数のプラグインを順次 インストールするとページエラーが発生することがある (1738696)	15
Oracle Fabric Manager ダッシュボードの速度計がゼロで止まったままに なることがある (17366210)	15
2 つの I/O テンプレートがあるデュアル HCA サーバーでブート可能 vNIC が正しくない I/O テンプレートに割り当てられる可能性がある (17359505)	15
OS のパッチおよび更新	16

このドキュメントの使用

- **概要** – Oracle Fabric Manager 5.0.2 ソフトウェアの最新情報を提供します。
- **対象読者** – 技術者、システム管理者、および認定サービスプロバイダ。
- **前提知識** – ハードウェアのトラブルシューティングや交換に関する豊富な経験。

製品ドキュメントライブラリ

この製品および関連製品のドキュメントとリソースは http://docs.oracle.com/cd/E64523_01/index.html で入手可能です。

フィードバック

このドキュメントに関するフィードバックを <http://www.oracle.com/goto/docfeedback> からお寄せください。

最新情報

このドキュメントには、Oracle Fabric Manager 5.0.2 についての重要な最新情報が含まれています。追加情報については、製品の Web ページ (<http://www.oracle.com/us/products/networking/virtual-networking/fabric-manager/overview/index.html>) をチェックしてください。

- [9 ページの「このリリースの新機能」](#)
- [10 ページの「サポートされている最小ソフトウェアバージョン」](#)
- [10 ページの「ソフトウェアおよびハードウェアの要件」](#)
- [11 ページの「システムの制限および制約」](#)
- [14 ページの「既知の問題」](#)
- [16 ページの「OS のパッチおよび更新」](#)

このリリースの新機能

次に Oracle Fabric Manager 5.0.2 の新機能をいくつか示します。

- Oracle Fabric Interconnect F2-12 スイッチ (仮想化スイッチ) のサポート。このスイッチでは、高パフォーマンスのクラウドに対応したスケーラブルな I/O およびオンデマンドのネットワークサービスが提供されます。仮想化スイッチでは、次の I/O モジュールがサポートされています。
 - Oracle F2 10 Gb および 40 Gb Ethernet Module
 - Oracle F2 Dual Port 16 Gb Fibre Channel Module
 - Oracle F2 Quad Port 10GBase-T Module
 - Oracle F2 Long Range InfiniBand Module (モードの切り替えのみ)仮想化スイッチの詳細は、[Oracle Fabric Interconnect F2-12 製品のページ \(https://www.oracle.com/networking/fabric-interconnect-f2-12/index.html\)](https://www.oracle.com/networking/fabric-interconnect-f2-12/index.html) を参照してください。I/O モジュールの詳細は、[Oracle EDR InfiniBand Fabric 製品のページ \(https://www.oracle.com/networking/edr-infiniband-fabric/index.html\)](https://www.oracle.com/networking/edr-infiniband-fabric/index.html) を参照してください。
- Oracle InfiniBand Switch IS2-46 をサポートする拡張機能。リーフスイッチの詳細は、[Oracle InfiniBand Switch IS2-46 製品のページ \(https://www.oracle.com/networking/infiniband-switch-is2-46/index.html\)](https://www.oracle.com/networking/infiniband-switch-is2-46/index.html) を参照してください。
- ジャンボフレームパケット用の拡張サポート:

- パブリッククラウドのフラグメンテーションなしでジャンボフレームパケットを転送する機能 (最大 9194 の MTU)。
- PVI クラウドのフラグメンテーションなしでジャンボフレームパケットを転送する機能 (UD モードで最大 9222 の MTU)。
- PVI クラウドのフラグメンテーションなしでスーパージャンボフレームパケットを転送する機能 (RC モードで最大 65504 の MTU)。
- VNS 1.0.3 および Ethernet スイッチ ES2-64 と ES2-72 用のプラグイン拡張。
- chassisName/embedded/1 として参照されるようになった埋め込みポート。
- さまざまな拡張機能および修正。

これらの機能の動作の詳細は、[Oracle Fabric Manager 5.0.2 管理ガイド](#)を参照してください。

サポートされている最小ソフトウェアバージョン

仮想化スイッチを使用している場合は、Oracle Fabric Manager 5.0.2 を使用する必要があります。常に、最新バージョンの Oracle Fabric Manager を [My Oracle Support](#) からダウンロードして使用してください。

ソフトウェアおよびハードウェアの要件

Oracle Fabric Manager 5.0.2 と互換性のあるソフトウェアおよびハードウェアの一覧を、この表に示します。

表 1 互換性のあるハードウェアおよびソフトウェア

サポートされる製品	最小バージョン
OS	■ Oracle Solaris (SPARC および x86) – 最新バージョンの使用が推奨されますが、サポートされる最小のバージョンは、Oracle Solaris 11.3 SRU 9 です。 ■ Linux – 最新バージョンの使用が推奨されますが、サポートされる最小のバージョンは、Oracle Enterprise Linux 6 Update 5 です。 ■ Windows – 最新バージョンの使用が推奨されますが、サポートされる最小のバージョンは Windows Server 2012 (64 ビットのみ) です。
ブラウザ	■ Mozilla Firefox – 最新バージョンの使用が推奨されますが、サポートされる最小のバージョンは、バージョン 27 です。 ■ Microsoft Internet Explorer – 最新バージョンの使用が推奨されますが、サポートされる最小のバージョンは、バージョン 9.0 です。
Java	Java 1.8 (JRE) 以上 – Oracle JRE バージョンのみがサポートされます。OpenJDK JRE など、その他の JRE バージョンはサポートされません。このソフトウェアは Oracle Fabric Manager ソフトウェアに付属していません。使用する OS に対応するバージョンを http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html からダウンロードします。

サポートされる製品	最小バージョン
Oracle InfiniBand スイッチ	■ Oracle InfiniBand Switch F2-12 スイッチ。仮想化スイッチの詳細は、https://www.oracle.com/networking/fabric-interconnect-f2-12/index.html を参照してください。 ■ Oracle InfiniBand スイッチ IS2-46 スイッチ。リーフスイッチの詳細は、https://www.oracle.com/networking/infiniband-switch-is2-46/index.html を参照してください。
I/O モジュール	仮想化スイッチでサポートされているモジュールの詳細は、 https://www.oracle.com/networking/fabric-interconnect-f2-12/index.html を参照してください。
Fabric Interconnect F1-15	この Fabric Interconnect には、ネットワークモジュールとストレージモジュールをサポートするスロットが 15 個備わっています。詳細は、 Oracle Fabric Interconnect Hardware User's Guide を参照してください。
Fabric Interconnect F1-4	この Fabric Interconnect には、ネットワークモジュールとストレージモジュールをサポートするスロットが 4 個備わっています。詳細は、 Oracle Fabric Interconnect Hardware User's Guide を参照してください。
Oracle SDN Controller	Oracle SDN Controller バージョン 1.0.0。 詳細については、http://www.oracle.com/us/products/networking/virtual-networking/sdn/overview/index.html を参照してください。

システムの制限および制約

これらのトピックには、このリリースの Oracle Fabric Manager のシステムの制限および制約が記載されています。

Oracle Fabric Manager では、同じバージョンからバックアップされた構成のみを復元できる

このバージョンの Oracle Fabric Manager には、旧バージョンには存在しなかった新しいオブジェクトが含まれていることがあります。これらの新しいオブジェクトの結果、旧バージョンの Oracle Fabric Manager でバックアップされた Oracle Fabric Manager 構成を新しいバージョンで復元できないことがあります。新しいバージョンの Oracle Fabric Manager でバックアップされた構成は、新しいバージョンで復元できます。

▼ 構成を復元する

以前の構成を復元する必要がある場合は、この手順に従います。たとえば、Oracle Fabric Manager のこのバージョンへのアップグレード中にエラーが発生する場合があります。

1. 現在 Oracle Fabric Manager がインストールされている場合、完全にアンインストールします。

2. 以前のバージョンの **Oracle Fabric Manager** をインストールします。
旧バージョンが、バックアップした構成のバージョンと一致することを確認します。
3. 以前の構成を復元します。
4. **Oracle Fabric Manager** を新しいバージョンにアップグレードします。

Oracle Fabric Manager では、QoS およびデフォルトゲートウェイの所有権が想定される

Oracle Fabric Manager を使用して、仮想リソースを構成または管理する場合、仮想リソースの次の点の所有権が意図的に想定されます。

- ネットワーク QoS
- SAN QoS
- デフォルトゲートウェイ
- プライベート vNIC

これらの機能を Oracle Fabric Manager CLI から構成しようとする、Oracle Fabric Device では変更が正常に行われますが、Oracle Fabric Manager に伝播されません。その結果、Oracle Fabric Manager を使用して Oracle Fabric Device を管理する場合に構成の変更が表示されません。これらのいずれかの機能をデータセンターで使用する場合、Oracle Fabric Manager が仮想 I/O 管理プラットフォームであるときは、Oracle Fabric Manager を使用して構成してください。このアクションにより、構成の変更が GUI に表示されます。

vNIC、vHBA、およびその他すべての機能では、CLI と Oracle Fabric Manager GUI を使用して構成と管理を併用できます。

Oracle Fabric Manager では特定のポートを使用可能にする必要がある

Oracle Fabric Manager では次のポートが開いていて使用可能である必要があります。

ポート	説明
8880 または 8443 (HTTPS)	エンドユーザーによって Oracle Fabric Manager への接続に使用されます。 または、これらのポートを閉じたままにしておくこともできますが、RDP セッションを開き、ローカルブラウザを使用してセキュリティーを高めてください。
443	Oracle Fabric Interconnect および Oracle SDN Controller の構成に使用されます。

ポート	説明
6522	Oracle Fabric Interconnect および Oracle SDN Controller の検出に使用されます。
7443	Oracle IB スイッチの構成に使用されます。
7777	Oracle IB スイッチの検出に使用されます。
22	ログのダウンロード、およびすべての種類のデバイスのバックアップファイルのエクスポートおよびインポートに使用されます。

これらのポートがブロックされているか、Oracle Fabric Manager で使用できない場合、構成は行われず、テーブルとその他のダイアログにはデータが含まれません。たとえば、Fabric Device またはサーバーをスキャンしようとしても、Fabric Device またはサーバーは表示されません。

Oracle Fabric Manager ソフトウェアのインストール後には、ポートに加えて、Oracle Fabric Manager サーバーへの接続を許可するために IP フォワーディングテーブルを必ず更新してください。

サポートされるアップグレードパス

注記 - 旧バージョンの Oracle Fabric Manager から新しいバージョンにアップグレードする場合、アップグレード前に、完了したジョブをすべて旧バージョンの Oracle Fabric Manager ソフトウェアにある「ジョブのサマリー」からクリーンアップしてください。

- [13 ページの「Oracle Fabric Manager サーバー OS」](#)

Oracle Fabric Manager サーバー OS

次のオペレーティングシステムではすべてのアップグレードパスがサポートされます。

- Oracle Solaris 11 Update 1 x86 (Oracle Fabric Manager 4.3.0 から 5.0.2)。
- Oracle Solaris 11 Update 1 (SPARC および x86) (Oracle Fabric Manager 4.3.1 から 5.0.2)。
- Oracle Solaris 11 Update 3 (SPARC および x86) (Oracle Fabric Manager 5.0.0 から 5.0.2)。
- Oracle Linux 6 Update 5 (64 ビットアーキテクチャー) および Oracle Linux 6 Update 6 (64 ビットアーキテクチャー) (4.3.0 から 5.0.2、4.3.1 から 5.0.2、および 5.0.0 から 5.0.2)。
- Windows Server 2012 (Oracle Fabric Manager 4.3.0 から 5.0.2、4.3.1 から 5.0.2、および 5.0.0 から 5.0.2)。

注記 - 旧バージョンの Oracle Fabric Manager から新しいバージョンにアップグレードする場合、アップグレード前に、完了したジョブをすべて旧バージョンの Oracle Fabric Manager ソフトウェアにある「ジョブのサマリー」からクリーンアップしてください。

Oracle Fabric Manager ソフトウェアのダウンロード

Oracle Fabric Manager ソフトウェアをダウンロードするには、[My Oracle Support](#) にアクセスする必要があります。

▼ ソフトウェアのダウンロード

このバージョンの Oracle Fabric Manager ソフトウェアは [My Oracle Support \(https://support.oracle.com\)](https://support.oracle.com) から入手できます。

1. [My Oracle Support](#) にアクセスし、ログインして MOS ダッシュボードを表示します。
2. ダッシュボードで、「パッチと更新版」タブをクリックします。
3. 「パッチ検索」タブで、「検索」->「製品またはファミリー」をクリックします。
4. 「製品」フィールドに、「Oracle Fabric Manager」と入力します。
文字列を一意にするために十分な文字を入力すると、このフィールドは自動入力されます。
5. 「リリース」フィールドで、適切なバージョンを選択します。
6. 「検索」をクリックします。
7. **5.0.1** ソフトウェアが含まれている行をクリックして、「ソフトウェアを Fabric Manager サーバーにダウンロードする」を選択します。
8. 更新された Oracle Fabric Manager ソフトウェアは、Oracle Fabric Manager サーバー上にある場合は、インストールします。
手順については、『[Oracle Fabric Manager 5.0.2 インストールガイド](#)』の「ソフトウェアのインストール」を参照してください。

既知の問題

Oracle Fabric Manager 5.0.2 の既知の問題を次に示します。

- 15 ページの「Oracle Fabric Manager のアップグレード後に、複数のプラグインを順次インストールするとページエラーが発生することがある (1738696)」
- 15 ページの「Oracle Fabric Manager ダッシュボードの速度計がゼロで止まったままになることがある (17366210)」
- 15 ページの「2 つの I/O テンプレートがあるデュアル HCA サーバーでブート可能 vNIC が正しくない I/O テンプレートに割り当てられる可能性がある (17359505)」

Oracle Fabric Manager のアップグレード後に、複数のプラグインを順次インストールするとページエラーが発生することがある (1738696)

Microsoft Windows で実行されている Oracle Fabric Manager サーバーでは、複数のプラグインを連続してインストールするとページエラーが発生することがあります。この問題が発生した場合、プラグインは正常にインストールされず、ページにデータは表示されません。旧バージョンからこのバージョンの Oracle Fabric Manager にアップグレードする場合にこの問題が発生する可能性があります。

回避方法: 旧バージョンの Oracle Fabric Manager をアンインストールして、新しいバージョンの Oracle Fabric Manager の新規インストールを実行します。

Oracle Fabric Manager ダッシュボードの速度計がゼロで止まったままになることがある (17366210)

Oracle Fabric Manager ダッシュボードのパフォーマンス速度計がゼロのままになることがあります。この問題は、場合によってはタイムアウトと再試行を引き起こす Oracle Fabric Manager とブラウザの間のタイミングの問題のために、複数の要求が行われたことが原因で発生することがあります。タイムアウトと再試行は引き続き処理され、要求が絶え間なく発生するために、速度計がサンプリングを完了してスループットを表示できなくなります。その結果、未完了の要求が絶え間なく発生するために速度計はゼロのままになります。

2 つの I/O テンプレートがあるデュアル HCA サーバーでブート可能 vNIC が正しくない I/O テンプレートに割り当てられる可能性がある (17359505)

デュアル HCA サーバーで 2 つの I/O テンプレートを作成し、それぞれにブート可能 vNIC がある場合、ブート可能 vNIC が別の I/O テンプレートに割り当てられることが

あります。たとえば、ブート可能 vNIC BV1 がある I/O_Template_1 と、ブート可能 vNIC BV2 がある I/O_Template_2 を作成するとします。これらの I/O テンプレートをデュアル HCA サーバーに割り当てると、両方ともブート可能 vNIC であるために両方の vNIC が「true」とマークされるべき場合でも、Oracle Fabric Manager GUI には、ブート可能 vNIC の 1 つが「true」と表示され、もう 1 つが「false」と表示されることがあります。

OS のパッチおよび更新

バージョンの差異により現在の OS にパッチを適用する前に、可能であれば、クライアントシステム上で OS イメージ全体を更新してください。

OS イメージ全体を更新できない場合は、ソフトウェアドライバを含む最新パッチを <https://support.oracle.com> からダウンロードしてください。

詳細については、製品の Web ページ (<https://www.oracle.com/networking/edr-infiniband-fabric/index.html>) をチェックしてください。